

# 提携米通信

2019年正月号・黒瀬農舎

御家ご一同様のこの一年のご健康をお祈りいたします。



皆さまお揃いで佳い新年をお迎え頂いたことと存じます。我が家はお陰さまで、家族7人元気に新年を迎えることができました。

ところで、昨年は、季節はずれの暑い日が続いたと思えば、急に寒くなったり、干天が続いたと思えば、雨ばかりの日になったり、季節が数ヶ月も

バックしたり、進んだりの天候不順でした。

自然相手の仕事をしている私たちは、降り回わされ放なしでした。

私たちの村でも、ごく一部の田圃でおコメを休んで、メロンや南瓜、大麦、小麦、大豆、玉ネギなどを作る農家もおりますが、どの作物も近年にない不作となったようです。

おコメは「日本人の主食」ですから「不作」の年でも半作以下（50%以上の減収）になることは、冷害など余程の事態でない限りなく、昨年も減収率最大圃場で3割減程度でした。

（主食の第一条件：その国や地域で、安定的に食糧確保できる作物）

でも、コメ以外のほとんどの作物は半作以下、圃場によっては壊滅や8割、9割の減収。

村の大豆の平均は「半作」とのこと。手作り味噌に使う無農薬大豆を毎年担当している仲間生産者の大豆もほぼ全滅。村のカントリーエレベーターにお願いして、皆さんからご予約頂いた大豆の必要量を「無農薬」指定で、やっとのことで確保できたという状況です。

でも、元来、農業は自然に左右される宿命を持った仕事。災害や不作などいつものことで、落ち込んでも、何も改善しないことを体得しています。

私たち生産者仲間も「来年こそは！」と、天候に恵まれることを願いながら新年を迎え、今年の栽培についての工夫を凝らし未来に向かっていきます。

皆さまご一家のご健康をお祈りしながら、新しい年もおコメ作りへのご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

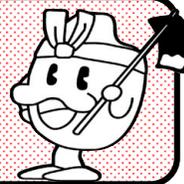
## 提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL: 0185-45-3088 FAX: 45-2887



★我が農舎は、電話受付の専任スタッフはおりません。日中は倉庫作業等で、留守電受けが多くなりますが、ご了承をお願いします。  
★電話は、日祭日や、夜間もOKです。  
★新米のご贈答利用も宜しく願います。

E-mail: [akita@kurose.com](mailto:akita@kurose.com) Web: [提携米 黒瀬農舎](#) 検索

- ★黒瀬農舎からの返信メールが自動的に迷惑メールフォルダに分類されていることがあるようです。返信のメールが届かない場合は迷惑メールフォルダの確認やメールの設定をご確認下さい。
- ★宅配便運賃の値上がりに伴い、複数の運送会社を使うことに致しました。そのため、出荷日/サイズ/お届け先によっては、以前（前回）と運送会社が異なることがあります。ご了承下さい。

## 新政策「収入保険制度」・・・農政もやっと前進!



男鹿のナマハゲがユネスコの無形文化遺産に「来訪神：仮面・仮装の神々」として登録されました。当地・秋田は昨年不作。昨年の朗報はこのナマハゲと甲子園の金農だけ。今年のナマハゲ柴灯祭りの二月八日は祭りにご案内しますので我がロッヂには是非ご来訪を・・・

男鹿  
ナマハゲ

表のページのように昨年は「不作年」でした。

このことにも関連した国の新しい施策が来年度からスタートすることになりました。

それは、農業者対象の「収入保険制度」です。

今までの「農政」は、集票目的で農家を保護する。というスタンスに立っていました。

農民に補助金などをバラ撒いて、政権与党に票を集める。与党だけでなく、野党も補助金をバラ撒く政策成立に寄与すれば、票が得られる。・・・という図式で、与野党こぞって同じ手口です。

この結果、農家はいつまでも自立せず、また、自立させないことで票を集め続ける。結局日本農業を敗退させることにつながっていました。

過去の保護政策の中では、食管と減反政策、そして民主党政権下の所得補償制度が悪政の代表格です。

これらと共に、過去のほとんどの農政を評価してこなかった私にとっては、来年から発足の「収入保険制度」は、過去の悪しき農政のスタンスから一変した評価すべき政策のように思います。

政策概要は「保険加入農家の、その年の収入金額が、過去5年間の平均売上げ金額から1割以上上下回れば、その減収額の9割の保険金を支払う。」「保険料は、概ね半額を政府が負担する。」というものです。

民主党時代の所得補償と一見似ていますが、生産者の自立を妨げるか、促進するかの違いを始め、所得補償とは政策立案思想が根本的に異なる「まとも」な政策です。

所得補償は「生活保護」のスタンスです。生活保護は勤労意欲を喪失させるなどの種々の問題があるとしても、ミニマムセキュリティーとして国の義務ですが、農業の所得を国が補償するというのは、農民側からしても人を馬鹿にした発想ですし、墮農を生んだり、農業多用など幾つもの弊害が出るなど産業政策としては愚策の典型でした。

収入保険の加入脱退は自由で、保険掛け金は生産者自らが拠出する。政府負担割合の半額が適切かどうかは判りませんが、果樹や野菜が台風などで壊滅や半作以下になったり、逆に大豊作で価格が暴落するなど、経営努力を超えるアクシデントはよくあることで、再生産が続けられることを目指したこのビジネスライクな保険制度は希に見る善政です。

でも、稲作主体の経営の場合には、昨年の場合こそ保険支払い対象になりますが、こんな減収は10年に1度もないと予想され、保険料負担がペイできるかどうかなど、我が家の加入はまだ検討中です。このように、コメの安定度は実に見事で「さすが主食」です。

**お餅や手作り味噌などのご注文ありがとうございました。**

☆手作り味噌セット、大豆、糀などは1月下旬以降のおコメと一緒にのお届けです。

☆お餅は、袋に微細な穴が開くなどすると、カビが出ます。

(防腐剤など無添加ですので、1000に1袋程度の事故率は避けられないのが実情です。)

(未開封の場合は、賞味期限内は、交換、返金など対応しますのでご連絡下さい。)

(※未開封の保存は常温でOK。★賞味期限後も変色なければ食べても大丈夫です。)